

第6次小山市行政改革大綱実施計画 進捗状況調査

No.	取組項目		担当課・担当係	取組番号	区分				
89	渡良瀬遊水地の環境保全活動の推進		渡良瀬遊水地ラムサール推進課	3-1-2-008	継続				
基本方針	多様な主体・地域が協働したまちづくりの推進	大項目 市民や地域との協働の推進	中項目	地域との連携強化					
取組概要	<p>渡良瀬遊水地及びその周辺地域の振興に向けた取組みについては、「渡良瀬遊水地関連振興5ヶ年計画」に基づき、生物多様性の保全・水辺の保全を推進する環境保全への取組みとともに、自然を満喫する魅力的な環境整備の各事業の推進や進行管理を行っている。</p> <p>環境保全活動については、「ヤナギ・セイトカアワダチソウ除去作戦」をはじめ、様々な主体が参画する協働体制で進めており、更に協働の力による活動の定着を図るとともに、活動を通じて小山市の取組みを首都圏等にPRする。</p>		達成目標	協働による環境保全活動の推進	目標年度 H31				
推進計画		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
協働による環境保全活動のPRと活動の定着	活動計画	●	●	●	●	●			
	実施状況	●	●	●					
指標名		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計・最終目標	実績	達成率
遊水地内「ヤナギ・セイトカアワダチソウ除去作戦」活動参加者数	目標値	3,000	3,400	3,800	4,400	5,000	5,000	2,700	54.0%
	実績値	1,900	3,800	2,700					
遊水地内「ヤナギ・セイトカアワダチソウ除去作戦」活動協力団体数	目標値	40	45	50	55	60	60	25	41.7%
	実績値	24	25	25					
年度	P 年次計画・目標		D 実施状況・主な取組内容			C・A 課題及び次年度に向けた改善内容			
H27	協働による環境保全活動のPRと活動の定着		<p>ヤナギ・セイトカアワダチソウ除去作戦は、年間5回の実施予定が、天候等の理由により3回の実施に留まったが、毎回協力団体をはじめ、安定して多くの参加者が集まっている。</p>			<p>参加者の増加や掘削等による環境の変化の中で、適切な活動範囲や除去植物の設定、それに伴う作業指導を適宜行っていく。今後も継続して実施することにより、活動の定着を図る。</p>			
			進捗度	B 計画通り					
H28	協働による環境保全活動のPRと活動の定着		<p>計画通り5回実施。継続して実施したことにより、実施場所において、外来植物の抑制がされている。また、これまでに第2調節池では見られなかった、イヌセンブリ（絶滅危惧Ⅱ類）が確認された。引き続き活動には、安定して多くの参加者が集まっている。</p>			<p>H28年度末に掘削し湿地が拡大した。これに伴い活動エリア拡大や参加者の増加を目指す。また、ヤナギ・セイトカアワダチソウ除去作戦の実施による効果や実績の周知をすることで、環境保全活動に対する理解や意欲の向上を図る。今後は外来種対策として、ヤナギ・セイトカアワダチソウ等の外来植物に加え、オオクチバスやブルーギル等外来魚対策を実施する。</p>			
			進捗度	B 計画通り					
H29	協働による環境保全活動のPRと活動の定着		<p>5回実施の計画であったが、天候の関係で全4回の実施となった。今年度より、すべての回に5人以上で参加された企業・団体を「平成29年度渡良瀬遊水地湿地保全サポート団体」とし、感謝状を贈呈することとし、該当団体は6団体であった。また、外来魚駆除活動である「おさかなワイワイ大作戦」も実施した。</p>			<p>国土交通省の掘削に伴い、専門家の意見を取り入れながら、活動エリアの拡大や除去物の検討をする。表彰制度についても、湿地保全活動に対する関心を高めたり、企業などが独自で湿地保全活動（CSR活動）を実施するようなきっかけ作りになるよう継続して実施する。</p>			
			進捗度	B 計画通り					
H30	協働による環境保全活動のPRと活動の定着								
			進捗度						
H31	協働による環境保全活動のPRと活動の定着								
			進捗度						